

令和7年度

学校評価

令和8年3月

坂井市立坂井中学校

目 次

○学校評価年間計画	…	P 1
○スクールプラン	…	P 2
○学校教育活動アンケートの12項目 ※生徒・保護者・教職員 アンケート項目	…	P 3
○学校教育活動アンケート比較グラフ（3カ年） ※生徒・保護者・教職員のアンケート結果より	…	P 4
○保護者からの学校への意見 ※保護者アンケート自由記述欄より	…	P 6
○学校評価書	…	P 7
○学校関係者評価 （家庭・地域・学校協議会より）	…	P 9

令和7年度 学校評価年間計画

- 1 スクールプランによる教育活動や学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組みの適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- 2 自己評価および生徒・保護者アンケート、学校関係者評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者・地域住民等から理解と参画を得て、家庭・地域・学校の連携・協力による学校づくりを推進する。

□学校評価年間スケジュール

期 間	内 容
4月上旬	スクールプランの作成
5月	学校評価計画の作成
6月24日(火)	スクールプラン等の説明 【家庭・地域・学校協議会】
11月中	学校教育活動評価シートの作成 ※スクールプランに合わせて具体的取組や評価の観点を設定 【教務】
12月8日(月)	学校教育活動評価シートの検討 【学校評価委員会】
12月中旬～冬季休業中	学校評価アンケート(生徒・保護者・教職員)の検討 ※スクールプランに合わせて、質問項目を見直し、問い方を変更。 【学校評価委員会】
1月20日(火) ～1月29日(木)	生徒・保護者・教職員アンケートの実施、回収
1月30日(金) ～2月6日(金)	生徒・保護者・教職員アンケートの集計、分析 【教科部会・学校評価委員会・企画委員会・研究推進委員会】
2月9日(月)	学校評価書の検討(成果と課題および改善策などの検討) 【学校評価委員会】
2月10日(火) ～2月16日(月)	学校評価書の検討(成果と課題および改善策などの検討) 【教科部会・企画委員会・研究推進委員会・職員会議】
2月24日(火)	学校評価書の検討(学校関係者評価) 【家庭・地域・学校協議会】
3月 3日(火)	学校評価書の作成(学校関係者評価の作成) 【学校評価委員会】
3月 3日(火)	次年度における教育計画の具現化

<坂井市教育基本目標>

「豊かな心と生きる力を育み、未来を拓く都市作り」

<学校教育目標>

創造的で活力ある社会の形成をめざし、確かな学力と健康で心身ともにたくましく、豊かな感性と自立心に富み、郷土に誇りをもつ人づくり

校訓

誠 創 協 錬
実 造 和 磨

めざす学校像

- (1) 明るい学校
 - ・気持ちのよい挨拶ができ、校歌が響き渡る学校
 - ・学校行事、生徒会活動や部活動が主体的で活発な学校
- (2) 落ち着いた学校
 - ・ベルとともに授業に集中し学習ができる学校
 - ・お互いを尊重し、穏やかな会話があふれる学校
- (3) きれいな学校
 - ・清掃が行き届き、校内外が整理整頓された学校
- (4) 地域から信頼される学校
 - ・家庭や地域との連携を密にする学校
 - ・地域と協力して教育活動に取り組む学校

めざす生徒像

- ・よく考え、心豊かで、何事にも全力で取り組む
- ・思いやりの気持ちを持ち、互いを認め合う

教師の願い
保護者の願い
地域の願い

研究主題

「通うのが楽しくて、充実した日々を過ごせる学校づくり」を目指して
～生徒の好奇心や探究心を醸成する授業研究を通して～

重点目標

確かな学力

- ◎基礎・基本の定着と主体的・対話的で深い学びの授業実践
- 情報ツールの積極活用
- 読書活動の推進

明るく落ち着いた生活

- ◎多様性を受け止め、互いに尊重する集団づくり
- 不登校・いじめ問題の未然防止

豊かな心

- キャリア教育の充実
- 道徳的実践力の育成
- と人権教育の充実

健康な心と体

- ◎デジタル・シティズンシップ教育の充実
- 校内外での安全安心な生活

開かれた学校

- 積極的な情報発信、学校公開
- 異校種連携と地域活動への参加促進

具体的な取組

- ・導入や振り返りの工夫、ICT機器等を活用し、基礎・基本の定着を図る
- ・ICT機器を活用し生徒が主体的で「分かる・関わる」が実感できる授業を行う
- ・ICT機器を活用し対話的な学習場面を設定し、「考えを高め合う授業」を行う
- ・朝読書を継続し、読書活動やNIE教育の充実を図る

- ・生徒主体の活動を重視し、自主性を育てる
- ・ピア・サポートや体験活動等を取り入れて、望ましい人間関係づくりを行う
- ・アセス等を活用して生徒理解に努める
- ・「子どもの声」調査を分析し、魅力ある学校づくりを推進する

- ・外部資源を活用して、キャリア教育の充実を図る
- ・福祉体験活動等を通して、奉仕と生命尊重の心を育てる
- ・道徳の時間を柱にして道徳教育の充実を図る
- ・特別支援教育や人権教育の充実を図り、個を尊重する資質を養う

- ・情報モラル教室等を実施し、安全なネット利用を考える力を培う
- ・保健教育、食育等により、望ましい生活習慣の構築を図る
- ・自然災害・不審者に対する実効性のある訓練を実施する
- ・登下校における交通事故防止の徹底を図る

- ・学年だより・ホームページ等により適切に情報を発信する
- ・授業や学年行事などに地域の人材を積極的に活用する
- ・異校種との継続的な交流活動等に努める
- ・学校評価を活用し教育活動の改善に努める

数値目標

- ・授業が「分かる」と感じている生徒が90%以上
- ・図書室の貸し出し冊数一人20冊以上

- ・望ましい人間関係が形成されていると感じている生徒が90%以上
- ・学校に通うことが楽しいと感じる生徒が90%以上

- ・自他を大切にしている行動がとれていると感じている生徒が90%以上
- ・夢や目標を持っている生徒が80%以上

- ・健康で安全な生活に心がける生徒が80%以上
- ・安全なネット利用について取り組んだ生徒が90%以上

- ・学校は教育内容を適切に伝えていると答える保護者が80%以上
- ・地域活動等に参加する生徒が60%以上

業務改善のための取組 ※協働とタイムマネジメント

- ・退庁時間の適切化に向けた計画的な校務の推進、一斉退庁日設定
- ・部活動の休養日、活動時間の遵守
- ・諸会議60分以内に終了、終了予定時刻の明示
- ・C4th等を活用した事務処理の迅速化

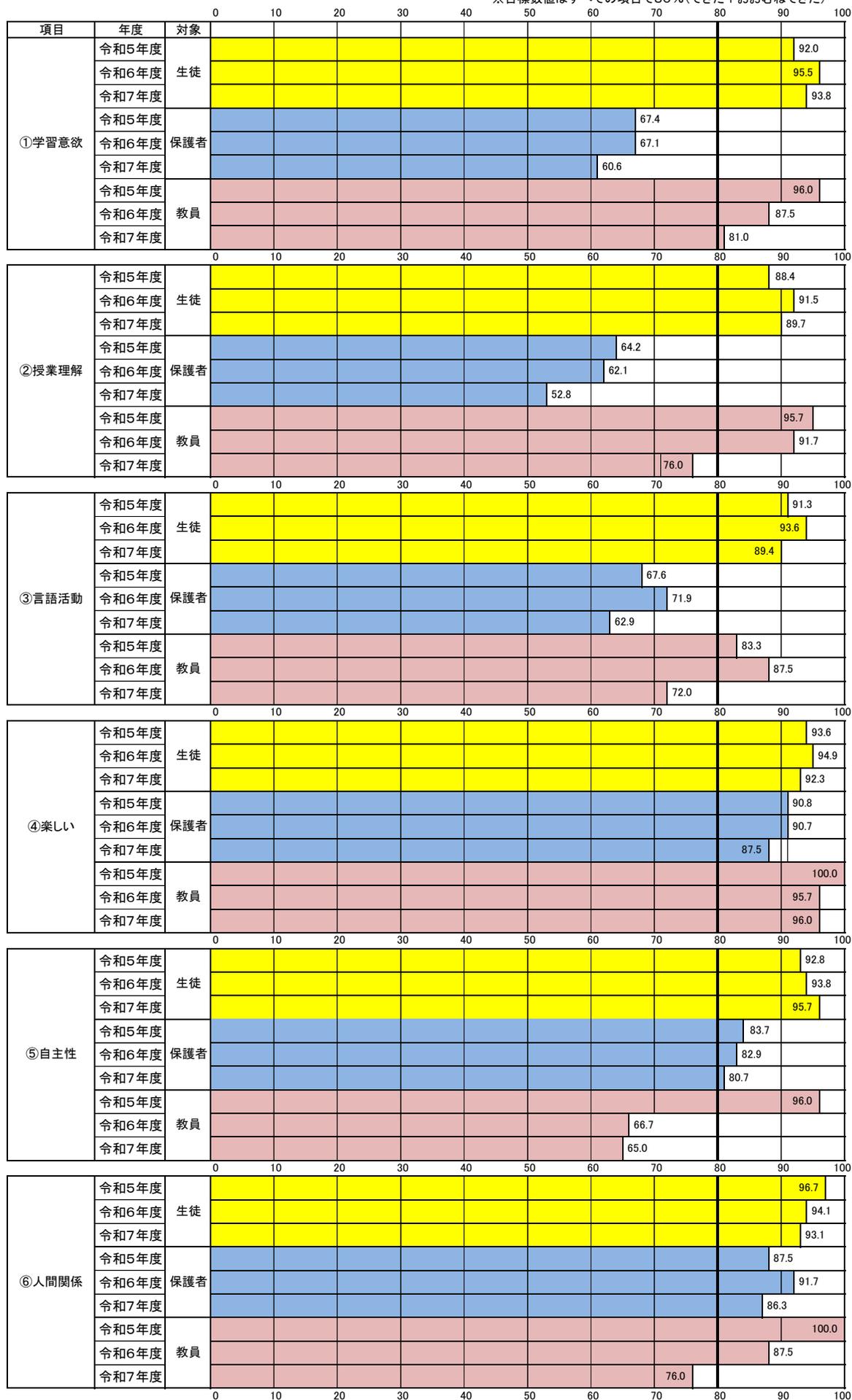
令和7年度 学校教育活動アンケート12項目（生徒・保護者・教職員）

※目標数値はすべての項目で80%（できた・あてはまる+おおむねできた・おおむねあてはまる）

項目	評価の観点（生徒用）	評価の観点（保護者）	評価の観点（教職員）
確かな学力			
①学習意欲	意欲をもって学習に取り組むことができましたか。	お子様は、意欲をもって学習に取り組んでいると思いますか。	生徒は、意欲をもって学習に取り組んでいると思いますか。
②授業理解	授業はよくわかりましたか。	お子様は、授業の内容がよくわかっていると思いますか。	生徒は、授業の内容がよくわかっていると思いますか。
③言語活動	発表や話し合い、レポート作成などの学習活動を通して、自分の考えを伝えることができましたか。	お子様は、言葉や文章で自分の考えを伝えることができていると思いますか。	生徒は、言葉や文章で自分の考えを伝えることができていると思いますか。
明るく落ち着いた生活			
④楽しい	学校に通うのは楽しいですか。	お子様は、学校に楽しく通っていると思いますか。	生徒は、学校に楽しく通っていると思いますか。
⑤自主性	生徒会活動(委員会活動を含む)・係活動・部活動などにおいて、自主的に活動することができましたか。	お子様は、学校の活動に自主的に参加していると思いますか。	生徒は、学校の活動に自主的に参加していると思いますか。
⑥人間関係	学級や生徒会活動(委員会活動を含む)・部活動などにおいて、望ましい人間関係をつくることができましたか。	お子様は、望ましい人間関係を築いていると思いますか。	生徒は、望ましい人間関係を築いていると思いますか。
豊かな心			
⑦思いやり	自分自身やまわりの人を大切にしている行動をとることができましたか。	お子様は、自分やまわりの人を大切にしている行動していると思いますか。	生徒は、自分やまわりの人を大切にしている行動していると思いますか。
⑧将来の夢	将来の夢や目標をもっていますか。	お子様は、将来の夢や目標をもっていると思いますか。	生徒は、進路学習などの学習を通して、自分の生き方について考えていると思いますか。
健康な心と体			
⑨健康・安全	健康で安全な生活を心がけることができましたか。(交通安全、防災・防犯、食事、睡眠、感染症対策、体力づくりなど)	お子様は、健康で安全な生活を心がけていると思いますか。(交通安全、防災・防犯、食事、睡眠、感染症対策、体力づくりなど)	生徒は、健康で安全な生活を心がけていると思いますか。
⑩情報モラル	ルールやマナーを守り、正しいネット利用ができましたか。	お子様は、ルールやマナーを守り、正しいネット利用ができていると思いますか。	生徒は、ルールやマナーを守り、正しいネット利用ができていると思いますか。
開かれた学校			
⑪情報公開	学年通信やホームページ、掲示物などで、学校の様子を理解することができましたか。	各種通信やホームページ、学校公開(行事)、懇談会などで、学校の様子がわかりますか。	各種通信やホームページ、学校公開(行事)、懇談会などで、学校の様子、生徒の様子について情報提供できたと思いますか。
⑫地域活動	地域の行事・活動やボランティア活動に参加できましたか。	お子様は、地域の活動やボランティア活動に参加していると思いますか。	生徒は、地域の活動やボランティア活動に参加していると思いますか。

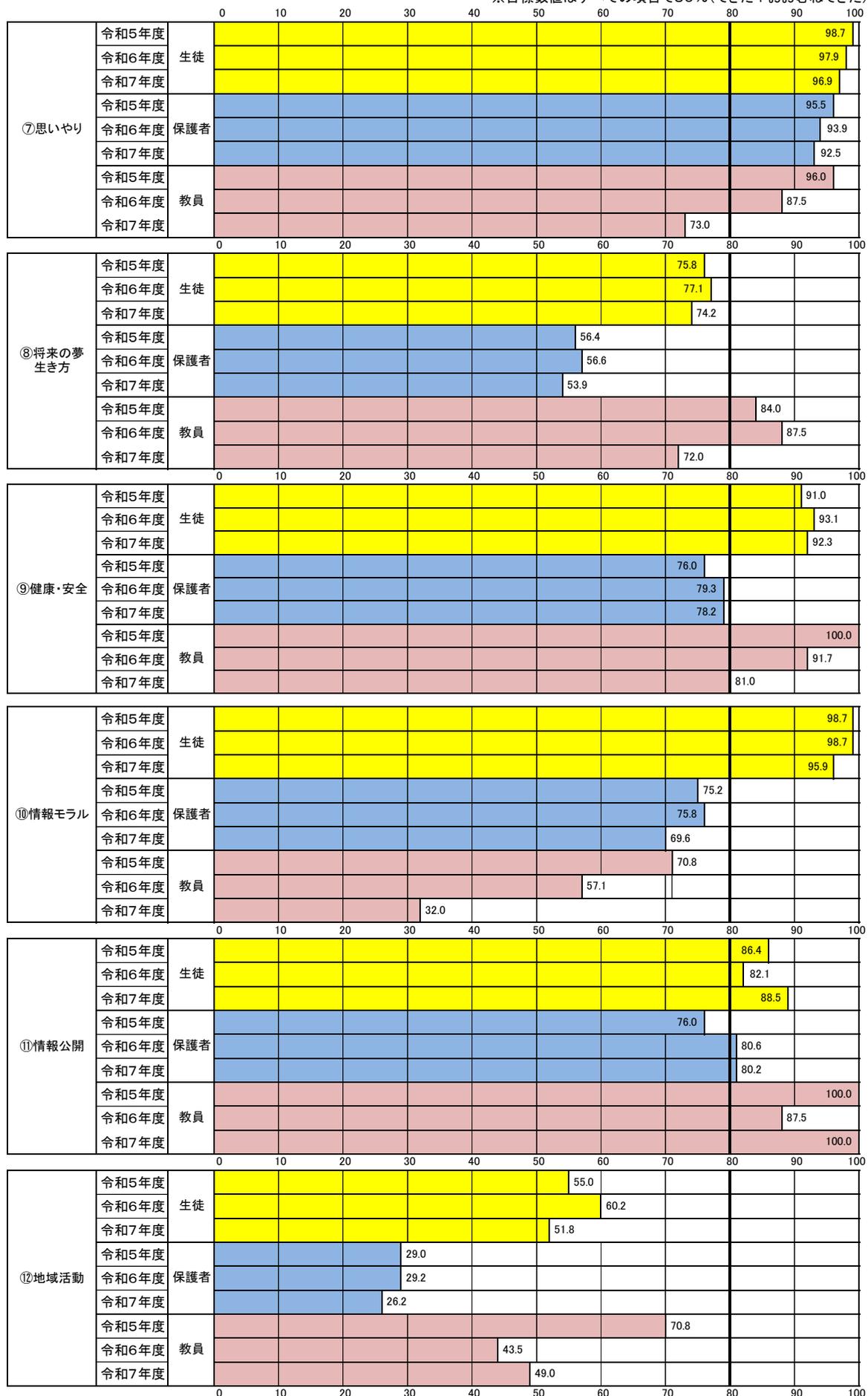
学校教育活動アンケート(生徒・保護者・教職員)比較グラフ(1)

※目標数値はすべての項目で80%(できた+おおむねできた)



学校教育活動アンケート(生徒・保護者・教職員)比較グラフ(2)

※目標数値はすべての項目で80%(できた+おおむねできた)



保護者アンケート自由記述欄より

【学習・学力・授業に関する意見や要望】

○もっと分かりやすい授業をしてほしい

回答「ご意見をいただき、ありがとうございます。今後とも全教職員で鋭意努力してまいります。」

○坂井中学校が福井県内のどの位置に学力が位置しているか知りたい。

回答「ご意見をいただき、ありがとうございます。学校としては、テストの点数だけで単純に比較するのではなく、生徒一人一人の伸びや学習状況を大切にしながら、教育活動の改善に努めております。」

○学期途中より学校の方針が変わったのか探究を求める事が多くなってきたように思いますが、全てを生徒に任せるのではなく、そこまでは先生方が導いてくれるとありがたいと思います。求める事が分かって何をするべきか分からないと言った時がありました。卒業をしてしまうので次の学年に繋げていただけたらと思います。

回答「ご心配の声をいただき、ありがとうございます。本校では「自立した学習者」の育成を目指し、学習の目標を示した上で、手段や方法を生徒自身が考える探究的な学びを大切にしています。一方で、生徒が「何をすればよいか分からない」と感じた場面では、教師が見通しや考え方の例を示したり、必要に応じて個別に支援したりしていきたいと考えています。生徒がより安心して学べるよう努めてまいります。これからもよろしくお願いいたします。」

○タブレットやパソコン等でのSNSの危険性(中毒性等)をととても懸念しています。学校教育にはタブレットは必要無いと思っています。

回答「ご意見をいただき、ありがとうございます。タブレットやパソコンによるSNSの危険性や中毒性についての不安は、多くの保護者の皆様が感じておられることだと思います。学校としても、その懸念を重く受け止めています。学校でのタブレット活用は、意見の共有をスムーズに行ったり、学習内容を整理したりするなど、学びを支えるためのものです。あわせて、正しく情報を扱う力や、危険を回避する力を育てることも重要だと考えています。最近のニュース報道にありました生徒による誤った発信等を鑑み、今後より一層、使い方の指導と安全面への配慮を大切にしながら活用していきます。」

【生徒指導に関する意見や要望】

・防寒の為に、教室で制服の上にパーカーなどを着たり、女子は体操服の長ズボン履かせてもいいのではないと思う。何故、見た目にかかわる必要があるのか疑問。

回答「ご意見をいただき、ありがとうございます。お子様に寒い思いをさせて申し訳ありません。本校では、制服の中に着る防寒着やストッキング・レギンスを認めておりますので、そちらのご利用もご検討いただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。」

- ・これからもよろしくお願いいたします
- ・いつも温かく見守ってくださりありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます！

☆評価基準 A:できた・あてはまる B:おおむねできた・あてはまる C:あまりできなかった・あてはまらない D:できなかった・あてはまらない

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
確かな学力	<p>○導入や振り返りの工夫、ICT機等を活用し、基礎・基本の徹底を図る。</p> <p>○生徒が主体的で「分かる・関わる」が実感できる授業を行う。</p> <p>○対話的な学習場面を設定し、「考えを高め合う授業」を行う。</p> <p>○朝読書を継続し、読書活動やNIE教育の充実を図る。</p> <p><数値目標> 授業が「分かる」と感じている生徒 【目標数値】A+B=90%以上 【達成数値】A+B=89.7%</p> <p>図書室の貸出冊数(2月16日現在) 【目標数値】一人 20冊以上 【達成数値】全校 15.5冊</p>	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を高めるために、学習課題を生徒にとって魅力的なものにしたり導入や発問を工夫したりすることができた。また、レギュレートフォームを記入することによって、生徒も教員も、目標を明確にして授業に臨むことができた。 <p>(意欲を持って学習に取り組んだ93.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りの質の向上を目指し、言語活動の充実を図った。校内研修を充実させ、指導主事訪問と合わせて教員の授業力向上を図った。 <p>(自分の考えを伝えることができた89.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別支援を要する生徒に対して、可能な範囲で個別に指導を行い、個に応じた指導の充実を図ることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実践に向けて、レギュレートフォームを導入したが、その理念の共有が難しかった。 朝読書を朝活動の時間に変更したため図書室の貸出冊数の目標は達成できなかった。 	<p><改善策・向上策></p> <ul style="list-style-type: none"> 教育総合研究所の研修講座受講や要請研修の実施、先進校視察等を積極的にを行い、「言語活動の充実」やICT教育、特別支援教育についての研修に取り組む。 全国学力・学習状況調査やSASAの結果分析を行い、授業改善に生かす。 リーディングDXの取組を通して、どのような手だてが深い学びにつながったか検証する。言語化できる生徒を目指し、振り返りを重視した授業を継続する。 図書委員会を中心に、さまざまな企画を立案し情報発信する。その活動を通じ、生徒自ら読書活動を充実させるにはどうするとよいか考えさせる。
明るく 落ち着いた 生活	<p>○教育活動全体を通して、生徒が主体的に活動する場を設けた。また、活動を評価する場では、生徒のできた面や伸びた面に着目させて振り返らせるようにする。</p> <p>○「子どもの声」調査を分析し、魅力ある学校づくりを推進する。</p> <p>○毎日の振り返りコメントや心の天気予報で生徒の様子を把握する。</p> <p><数値目標> 望ましい人間関係を築いていると答える生徒 【目標数値】A+B=90%以上 【達成数値】A+B=93.1%</p> <p>学校に通うことが楽しいと感じる生徒 【目標数値】A+B=90%以上 【達成数値】A+B=92.3%</p>	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会、委員会や学年等、学校行事のさまざまな場面で生徒が主体的に活躍する場面、参加する場面が増えた。 自発的にあいさつをする生徒が増えた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事等でまだまだ生徒に委ねられる余地がある。自主性の伸長のため今後より一層生徒が活躍する場面、参加する場面を設ける必要がある。 心のアンケートや教育相談等で生徒の状況を把握し、生徒と十分関わりながら、不登校の未然防止、初期対応、自立支援に努めていく必要がある。 あいさつや返事、場に応じた言葉遣いについて、その意義も生徒に考えさせて、そのよさも含めて、自主的にあいさつをする生徒の育成を図る。 より良い人間関係を築くためのコミュニケーション能力の育成については、教育活動全般の中で今後も継続的に取り組む必要がある。 	<p><改善策・向上策></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動の中で、生徒が課題やテーマを見つけ、主体的に取り組む活動を計画、実施する。 アセスメントシートを継続して実施し、結果の分析や活用方法についての研修を重ねながら、良好な学級集団づくり・学習集団づくりに役立てていく。 今後も年3回の教育相談の時間を確保するとともに効果的な教育相談を実施する。 部活動顧問会議を定期的に開催し、活動状況を共有して、生徒の自主的・自発的活動を充実させる。 安全で安心な場をつくるためにいじめ・暴力行為は絶対に許さないということをあらゆる場面で伝えていく。 様々な事情を抱えた生徒に対し、適切にケース会議を開き、よりよい対応について検討していく。そのために、カウンセリングマインド、「心のアンケート」や「スタートチェック」などの調査方法の研修を行い、生徒の実態を検証して、活動内容や指導法等を工夫する。
豊かな心	<p>○外部資源を活用して、福祉体験活動やキャリア教育の充実を図る。</p> <p>○道徳の時間を柱にして道徳教育の充実を図る。</p> <p>○3年生の総合的な学習の時間で学習したことを1,2年生に発信することで、地域への理解、将来の展望等を引き継ぐ意識、伝統をつなぐ。</p>	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 各学年で、学活・総合的な学習の時間を通して、進路や将来の夢についての意識を高めることができた。 学校行事や学年行事を通して、学級や学年で温かい人間関係を築くことができた。 	<p><改善策・向上策></p> <ul style="list-style-type: none"> 教室や校内の掲示板を活用し、道徳的心情を育てる環境を整える。 興味のある職種・分野に教室ごとに分かれ外部講師(接客業、製造業など)の話を聞く職業別講座を設ける。 →1年生3学期等で実施

項目	具体的取組	成果と課題	改善策・向上策
豊かな心	<p><数値目標> 自他を大切にしている行動がとれていると感じている生徒 【目標数値】A+B=90%以上 【達成数値】A+B=96.9%</p> <p>夢や目標をもっている生徒 【目標数値】A+B=80%以上 【達成数値】A+B=74.2%</p>	<p><課題> ・将来の夢や目標をもっている生徒の割合が目標数値に達していない。 ・家庭でも親子で夢を語り合う手立てを学校がとっていく必要がある。 ・道徳の授業のポイント、ふりかえりなどについて、引き続き、学校全体で研究を行う必要がある。 ・生徒が自分が興味のある仕事について知ることができる機会が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 様々な仕事に実際に触れ合う機会を増やすことで、より具体的に自分の将来についてイメージしやすくする。 学習内容が単発にならないように関連づけ3年間を通して、自分の良さや興味・関心将来の自分(どんな自分になりたいか)を意識した学習にする。総合ファイルを活用して、言語化することにより自分の成長を感じさせる。 道徳の授業数を35時間とれるように、年間の計画を見直す。 短学活で担任の話より、生徒の道徳的価値が高まり、広がるよう普段から努める。 教員研修を行い、指導力を向上させる。
健康な心と体	<p>○情報モラル教室等を実施し、安全なネット利用を考える力を培う。 ○保健教育、食育等により、望ましい生活習慣の構築を図る。 ○登下校における交通事故防止の徹底を図る。</p> <p><数値目標> 健康で安全な生活を心がける生徒 【目標数値】A+B=80%以上 【達成数値】A+B=92.3%</p> <p>安全なネット利用について取り組んだ生徒 【目標数値】A+B=90%以上 【達成数値】A+B=95.9%</p>	<p><成果> ・栄養教諭学校訪問を活用して食育を実施し、食に関する理解を深められた。 ・教員やPTAによる登下校指導やバス乗車指導を充実させ、生徒・保護者・教員の交通安全に対する意識を向上させることができた。 ・保健委員会の啓蒙活動、ほけんだよりの発行、保健指導、熱中症・感染症流行時期に合わせた情報発信を行う中でよりよい生活習慣が心と身体の健康に影響するという意識を行動できる生徒が多かった。 ・毎月のスマートルールの振り返りを通して、生徒は望ましいネットの使い方を考えることができた。</p> <p><課題> ・自転車通学における交通安全指導、バス通学に関するマナー指導は、継続的に丁寧に行っていく必要がある。 ・ネット利用に関して引き続き生徒・保護者に対しネット被害やネット依存について十分周知していく必要がある。 ・望ましい生活習慣を知識として理解していても、行動につながるのが困難な生徒がいる。スマホ使用環境的にも、生活時間の使い方を見直す働きかけが必要である。</p>	<p><改善策・向上策> ・ネットの安全利用について、外部機関や家庭、地域とも確実に連携を図っていく。また、道徳や総合的な学習の時間なども横断的に活用する。 ・初めて自転車通学をする1年生が、安全に登下校できるように、入学直後に丁寧な交通安全指導を行うとともに、関係機関と連携して、通学路の安全点検を実施する。 ・保護者、家庭と連携した取組を工夫する。 【例】 ①保護者向けのほけんだよりで睡眠・スマホ使用・感染症予防(家庭での体調管理)について協力依頼。 ②個別懇談時に生活習慣の大切さを共有。 ・生徒が自分ごととして考え行動できるような企画を工夫する。 【例】 ①「よく眠るための工夫」をテーマにした啓蒙活動(チャレンジ週間やアンケート)の実施。 ②専門家による出前授業を活用して睡眠の重要性を学ぶ機会の設定。</p>
開かれた学校	<p>○学年だより・ホームページ等により適切に情報を発信する。 ○授業や学年行事などに地域の人材を積極的に活用する。 ○異校種との継続的な交流活動等に努める。 ○学校評価を活用し、教育活動の改善に努める。</p> <p><数値目標> 学校は教育内容を適切に伝えていると答える保護者 【目標数値】A+B=80%以上 【達成数値】A+B=80.2%</p> <p>地域活動等に参加する生徒 【目標数値】A+B=60%以上 【達成数値】A+B=51.8%</p>	<p><成果> ・配付文書をPDF化しHome&Schoolにて配信することで、詳細な行事等の予定をスピーディかつ確実に保護者に向けて情報発信することができた。 ・小中連携では、6年生を対象に1月に体験入学を実施し、中学校の授業体験や中学1年生との交流会の機会を設けることができた。 ・地域学習の一環で、3年生が地域の方坂井高校、丸岡高校の生徒を招き、意見交換会を実施することができた。 ・ホームページに学校の様子や各種通信を掲載することで、適切に学校の情報を発信することができた。</p> <p><課題> ・小中連携や中高連携を継続していくために、目的達成のための効果的な活動等を工夫していく必要がある。 ・ボランティアや地域行事の紹介の仕方を工夫していく必要がある。 ・中高連携事業について、高校から研修会等の案内は届くものの、参加者はいなかった。紹介の仕方の工夫、日頃からの高校に関する1、2年生への情報発信が必要である。</p>	<p><改善策・向上策> ・ホームページの学年担当を引き続き配置し情報発信がスムーズに行うことができる体制を整える。 ・小中連携や中高連携に関しては、担当者同士の打合せ会を充実させ、事後アンケートを行うことで、より充実した内容になるようにしていく。 ・地域の人材を活用した教育活動をさらに推進していく。 ・家庭・地域・学校協議会において、中学生の地域行事への参加の方策を引き続き協議していく。 ・中高連携事業について、生徒への情報発信の工夫等について、中高連絡協議会でも話題に挙げるようにする。</p>

令和7年度 学校関係者評価（家庭・地域・学校協議会より）

今年度の教育活動について

□確かな学力

- ・リーディング DX とはどのような取り組みなのか。
- ・リーディング DX が始まったが、授業改善の効果が保護者にどれだけ伝わっているかが疑問である。

【回答】

リーディング DX の取り組みとは、ICT 機器を活用した「授業改善」、「校務の DX 化」の2本柱である。今年度から始まり、試行錯誤を重ねながら取り組んできた。少しずつではあるが成果が出ている。今後も先進校視察や校内研修会を重ね、より効果的な取り組みにしていきたい。保護者にも取り組みをより一層発信していく。

- ・探究的な授業スタイルに移行しているようだが、高校入試が変わらないことには授業スタイルが変わっても先生や生徒が大変なだけなのではないか。
- ・定期テストや確認テストで順位を出しているが、大切なのは子どもたちがどれだけ学習内容を理解できたかだ。順位を出すことを検討していただきたい。

【回答】

現在、大学入試が変わりつつある。それを受けて高校入試も今後変わっていくであろう。坂井市は「自立した学習者」の育成を目指している。本校としてもより深い学びにつながる指導や評価、テストの在り方を議論していく。

□明るく落ち着いた生活

- ・地域で見かける坂中生はあいさつやルールを守る態度がすばらしい。
- ・生徒アンケート「学校が楽しい」の値が毎年とても高いのは大変うれしいことである。学校が楽しいのが何より一番である。

□豊かな心

- ・生徒アンケート「自他を大切にしている」の値も毎年高い。思いやりの心が育つよう今後もお願いしたい。

□健康な心と体

- ・「情報モラル」に関して、「守れている」と回答する生徒と教職員の差が大きい。これはなぜか。

【回答】

今年度2学期より iPad が貸与されたことで、学習に必要なのない使い方をする生徒も多少見られた。より一層ルールやマナーを守って生徒が情報機器を使えるようになってほしいという教職員の思いから厳しい評価になったと思われる。情報モラルに関しては外部機関と連携して継続的に指導していく。

□開かれた学校

- ・地域の行事に参加する中学生が限定的である。地域の行事やボランティアに参加するとポイントがもらえるというような取り組みをしていただけないか。
- ・Home&School で地域行事やボランティアの案内をしてほしい。そうすれば親からも子どもにも声をかけられる。

【回答】

ポイント制はなかなか難しいが、その都度、生徒への周知を図りたい。また、昨年、保護者からの意見で Home&School の通知が多すぎて困るというご意見をいただいたことで、精選して通知を出しているが、来年度は保護者にも案内を配信する。

□その他

- ・アンケート結果だけで教職員が一喜一憂しない。自分たちの信念を大事にして教育活動を進めてほしい。
- ・今年度のアンケート結果を見ると、昨年、一昨年に比べて、教職員の肯定回答率が低いものが目立つ。これは何が原因か。また、評価の基準が明確でないと過去との比較ができないし妥当性も低くなる。

【回答】

今年度、教職員の異動によりメンバーが大きく変わり、教職員の数も減った。また、リーディング DX など新しい取り組みも始まった。やるべきことが増えると共に、新しい取り組みもあり、自らの目標の達成度が低いことにつながったと考えられる。今年度の成果と課題をもとに、より働きやすく、働きがいのある職場を目指していく。

